

開成中学

□

問一 本を好んで一人で読書する内向的でおとなしい子だったが、クラスの人気者であるひなつちと友だちになることで、読書は寂しいことと思ひ、活発に友だちとまじわるようになった。

問二 本音で向き合える友だちという意味ではなく、本心を見せずに仲良くしている友だちという意味。

問三 自分より目立つる人を否定するカナのプライドの高さにうんざりする反面、自分になりかしの強さにあこがれる気持ち。

問四 やりたい楽器をはやばやと決めているとカナに知られることによって、張り切りすぎだとかかわれなくなかったから。

問五 まやまやを攻撃することは、小磯が自分を選ばなかったという負けを認めることになるので、悪意の対象を小磯にすることで、自分のプライドを守ろうとしたから。

□

問一 ① 唱歌 ② 由来 ③ 高官 ④ 美談 ⑤ 功 ⑥ 成語 ⑦ 側近

問二 一般に正しいと信じられていることでも、実際に試してみてもその正誤を客観的に判断しようとする態度。

問三 勉強に向いている明るい日中を犠牲にして、夜学のための非効率な明かり取りに時間と労力を費やし、本来の勉強するという目的がおざなりになっている点。

(別解)

勉強に向いている明るい日中に、夜勉強するための明かり取りをすることで、手段と目的とが入れ替わっているところ。